

特別の教育課程「人間と社会」の編成の方針

松阪市立飯南中学校

1. 「人間と社会」の内容

- ・松阪市立飯南中学校は、平成13年度より、中高一貫連携教育における連携高校である三重県立飯南高等学校総合学科の原則履修科目「産業社会と人間」に接続する教科として「人間と社会」を設定している。
- ・飯南中学校における各学年の時間数は、
 - 第1学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
 - 第2学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
 - 第3学年は、「総合的な学習の時間」を35時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。

2. 全体の目標および内容

①目標

- ・進路と自己理解（主として自分自身に関わること）
 - ア 自己の性格・興味・関心・能力・適性などの特徴を知り、自己理解に努めさせる。
 - イ 個性と職業の関連を考えさせ、職業に対する関心を育てる。
 - ウ 自己の生き方、ライフコースについて考えさせる。
- ・進路と職業、生活（主として職業に関わること）
 - ア 職業の種類や特徴、職業生活などについて理解させると共に、勤労の意義について学習させる。
 - イ 職業人として必要とされる能力や態度、勤労観・職業観を養う。
 - ウ 聞き取りや調査を通じて、自己の進路選択の在り方を考えさせる。
- ・進路と体験学習（主として郷土や産業に関わること）
 - ア 身近な地域の中での様々な体験学習を通して、郷土の自然や産業について関心を持たせ、体験学習の中で、自己の能力や適性等を伸ばすと共に、将来の進路選択に役立てる学習を行う。

②学習内容

第1学年

- ア 自分探しをいろいろな方法で行い、自己理解に関心を持つ。
- イ 身近な人たちの職業について調べ、職業についてや働くことに関心を持つ。

第2学年

- ア 地域の職場や事業所の方から聞き取り学習を行い、仕事の意義や大切さを知ることで、自分に適した職業や将来の進路について関心を高める。
- イ 上級学校についての聞き取りや調査を通じて、自己の進路選択への関心を持つ。

第3学年

- ア 飯南高校総合学科の学習体験をはじめとして、各高校の特色を知り、自己の進路選択の力を付ける。
- イ キャリア講演会を通じて、いろいろな働き方を理解するとともに働くことの意義や将来の社会人としての心構えについて考え、進路設計の力を付ける。
- ウ 自己のライフコースを組むことで、将来に対しての展望を持つ。

3. 各学年の実践内容

第1学年

「職業調べ」

- ・自分の適性を知り、自分にあった職業を考えることができる。
- ・さまざまな職業について考えたり、調べたりすることを通して職業に対する興味・関心を深める。

「中高一貫生徒交流会」

- ・全体会では、飯南高校生からの説明がありました。飯南高校応援団から、今までの中学生との取り組みなど地域との関りを大切にした活動の報告がありました。また、部活動体験では、ハードな練習も一緒に参加させていただきました

第2学年

「飯南高校『地元企業との交流会』参加」

- ・飯南高校で開催された「高校生と地元企業との交流会」に参加しました。一人ひとりが興味のある企業の方から丁寧に説明をしていただき、地元の企業について知ることが出来ました。
- ・将来の生活に目を向けるとともに自分の能力や適性を関連づけて進路を考える。

「いいなんゼミ」参加

- ・飯南高等学校の3年生がテーマを決めて研究実践してきた成果を発表する「いいなんゼミ」をオンラインで視聴しました。連携高校の取り組みを知るとともに、プレゼンテーションのスライド作成の仕方や発表技術を学び、自分の進路の実現について考える。

第3学年

「キャリア講演会」

- ・株式会社鈴りん探偵舎代表取締役「これからの必要な力」「学生の目線がビジネスに？」など起業に関する内容の話しを興味深くしていただきました。

「飯南高校チャレンジデー」

- ・飯南高校の紹介を詳しく聞く、部活動体験をする、各系列の授業に参加するなど、高校生と触れ合いながら高校見学を体験しました。

「進路説明会」

- ・地元の高等学校から来ていただき高校生活や入試方法などについて説明を聞く機会を持ち、進路選択について考える。

全校

「松阪市長講演会」

- ・松阪市長に来ていただき講演会を開催しました。『明るいわ！楽しいわ！松阪やわ！』をテーマに松阪の特産品・松阪生まれの熱き先人たち・市長が考える7つの政策などの話を詳しく話していただきました。

「勤労体験活動」

- ・年2回の資源物回収を保護者の皆さんと地域の皆さんの協力で実施しました。働くことの大変さ・仲間と協力することの大切さ・コミュニケーションの大事さなどを学びました。また、地域の皆さんとふれあう機会となりました。